

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	地域文化の振興と文化財の保護・継承			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	文化課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	B-4-5	シート作成者名	小川 秀樹

① 施策の現状と課題

価値観やライフスタイルが多様化した今日、市民一人ひとりが自分の生き方を大切に、心のゆとりや生きる喜びなど精神的な豊かさを実感できる社会を創っていくことが重要となっています。

地域に住む人たちが自ら地域の歴史や文化を学び、文化遺産を大切に未来へ伝えていく気運も高まっています。市民が心豊かに日々を過ごし、地域に誇りと愛着を感じられるように芸術や文化の振興を図るとともに、文化財を活用し、地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供していくことが求められています。

近年、文化芸術活動に親しむ市民は増加し、その内容も多岐にわたり、行政も多様なニーズに対応していくことが必要となっています。

一方、本市は古代より豊前地域の中心として栄えたことから、数多くの史跡や文化財、伝統行事があり、御所ヶ谷神籠石や連歌奉納など、全国的にも注目される文化遺産もあります。これらを市民と連携し、保存継承していくとともに、広く公開し、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要です。

このため、多くの市民が文化芸術に親しむ環境整備を行うとともに、史跡整備や市の歴史や文化の情報発信能力の向上が求められます。このようなことから、文化施設や図書館、歴史資料館の整備を行っていく必要があります。

② 施策の基本方針

市民の自主的な文化芸術活動を促進するために、鑑賞及び発表の機会の充実や文化施設の整備を進めます。市内の文化遺産を市民とともに大切に未来に伝えるとともに、地域の魅力を高め、活性化するために積極的に活用していきます。

③ 施策の内容(主要施策)

主要施策名(1) 地域文化の創造と育成
文化団体や地域、学校等と連携して文化芸術活動を推進します。また人材の育成や団体の支援を強化し、次世代を担う子どもたちが芸術文化を体験・鑑賞する機会の充実を図ります。

主要施策名(2) 文化施設の整備充実
市民の多様で積極的な文化芸術活動を受け入れるため、活動の拠点となる文化施設の充実を図り、計画的に整備を推進します。

主要施策名(3) 史跡整備と文化財の活用
御所ヶ谷神籠石をはじめとした市内の史跡を整備するとともに、史跡の説明板や道標などの設置を進め、生涯学習や観光振興に積極的に活用します。また、史跡や文化財の維持管理も適切に行います。

主要施策名(4) 歴史や文化の情報発信の推進
歴史資料館の特別展や企画展を充実させるとともに、各種講座や体験学習を企画します。また、わかりやすいパンフレットやガイドブックを作成し、市民の文化財に対する理解を深めます。

主要施策名(5) 伝統文化の保存と継承
伝統ある連歌をはじめとした、様々な無形文化財を市民と連携し、保存・継承し、併せて地域の活性化に生かしていきます。

主要施策名(6) 読書活動の推進
市民の知的文化活動の充実のために、図書館を核とした読書活動の推進を図るとともに読書環境の整備を推進します。また、子どもたちの豊かな読書活動を推進するため、市図書館と学校図書館の連携を強化します。

④ 目標指標

指標名(単位)	過年度実績		評価年度	目標値				達成度の説明(H24年度)
	H22年度	H23年度		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
市民文化祭の鑑賞者数(人)	7,000	7,752	7,125	7,300	7,500	7,800	8,000	スタンプラリーを開催したが、PR不足であった。舞踊、フラダンス、高齢者作品展の入場者数は増加。
コスメイト行橋の利用者数(図書館・歴史資料館を除く)(人)	200,000	182,515	182,463	190,000	200,000	210,000	220,000	コスメイト行橋文化ホール、練習室、会議室、視聴覚センター、視聴覚室、企画展示室、ゆめギャラリーの利用者数。練習室、視聴覚センターで減少している。
御所ヶ谷神籠石の整備進捗率(%)	69.0	71.4	72.5	74.3	78.2	80.8	100.0	H28年度を100とした場合の進捗率。実際の事業終了は平成31年を予定している。当初の計画より進捗状況は遅れている。
歴史資料館年間入館者数(人)	27,066	24,194	22,904	24,000	25,500	27,000	28,000	入館者数は減少しており、改善が必要。また入館者数の正確なカウント方法についても検討が必要。
図書館年間利用者数(人)	100,000	106,276	107,633	110,000	113,000	117,000	120,000	図書の貸出しを利用した人数。移動図書館利用者が増加している。

⑤ 施策構成事務事業

事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
		H23年度実績値	H24年度実績値	H25年度見込額	
1 複合文化施設管理事業	複合文化施設コスメイト行橋の管理・運営	117,302	116,484	115,701	1
2 市民文化祭事業	行橋市民文化祭の開催	3,343	3,390	3,499	3
3 複合文化施設整備事業	複合文化施設コスメイト行橋の施設改修	24,672	17,298	18,209	6
4 美術展覧会事業	行橋市美術展覧会の開催	2,808	3,045	3,161	15
5 特別展・企画展事業	行橋歴史資料館での特別展(1回)・企画展(2回)開催	2,400	2,270	2,644	18
6 文化公演事業	市内小中学校での芸術鑑賞・体験事業	1,335	1,450	1,475	21
7 文化振興事業補助事業	行橋連歌大会、各校区文化祭、竹下しづの女俳句大会の開催を支援	2,750	3,430	3,210	8
8 文化振興公社補助事業	公益財団法人行橋市文化振興公社に対する補助	45,767	50,104	49,995	2
9 文化協会補助事業	行橋市文化協会に対する補助	2,490	2,490	2,350	4
10 読書活動推進事業	乳幼児を対象としたブックスタート事業	1,836	1,960	2,083	20
11 旧百三十銀行管理事業	県指定文化財「旧百三十銀行行橋支店」の管理・運営	4,358	4,429	4,348	16
12 御所ヶ谷史跡自然公園整備事業	国指定史跡「御所ヶ谷神籠石」の調査・整備	6,224	5,713	4,828	7
13 御所ヶ谷住吉池公園管理事業	御所ヶ谷住吉池公園の管理	755	657	661	23
14 市内遺跡整理事業	発掘調査を実施した遺跡の調査報告書作成	12,263	9,934	11,051	12
15 稲童1号掩体壕管理事業	市指定史跡「稲童1号掩体壕」の管理	1,083	1,104	1,819	25
16 市内文化財管理事業	市指定文化財への管理助成、及び古墳等の管理、文化財の修繕	2,346	2,382	2,306	17
17 確認・試掘調査事業	開発等に伴う文化財の確認調査	2,230	2,093	1,712	11
18 文化財収蔵庫整備事業	行橋市文化財収蔵庫の整備	1,526	3,203	2,414	22
19 文化財収蔵庫管理事業	行橋市文化財収蔵庫の管理	2,608	1,296	890	26
20 守田蓼洲旧居管理事業	市指定文化財「守田蓼洲旧居」の管理	1,199	773	1,838	24
21 東九州道発掘調査事業	東九州自動車道の建設に伴う発掘調査の報告書作成	7,392	5,621	5,295	13
22 再編交付金事業	文化財の見学者に対する案内板や説明板を設置	4,438	3,445	4,513	9
23 緊急雇用創出事業	発掘調査で出土した文化財の実測、製図を委託して実施	7,004	7,787	6,745	19
24 市内遺跡発掘調査事業	福原長者原遺跡の発掘調査、及びピワノクマ古墳調査報告書作成	1,708	7,009	4,835	10
25 県道発掘調査事業	県道拡幅工事に伴う発掘調査の報告書作成	2,575	827	2,666	14
26 守田蓼洲旧居保存整備事業	市指定文化財「守田蓼洲旧居」の整備	13,050	36,543	26,293	5

<p>⑥</p> <p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>(主要部長の意見)</p>	<p>文化芸術活動や地域の歴史文化に関する市民の要望は年々高まっており、またその内容は多岐にわたっている。このニーズに応えるために、インフラ整備やこの分野に携わる人員体制の充実が求められるところである。施設整備の面では文化芸術活動の拠点となる新たな文化施設の整備を計画しており、これを有用性の高い施設にする必要がある。</p> <p>また市民の意識を高め、市民の手による地域の文化の創造や発信を促進する。これを担う文化団体やボランティア団体がいきいきと活動できるようサポートしていくとともに自立性を高めることも重要である。また（公財）行橋市文化振興公社についても文化芸術の振興に十分に力を発揮できるよう指導するとともに連携を強めていきたい。</p> <p>こうした施策により市民の力で文化活動を通して、心の安らぎや生きがいを実感できる魅力ある地域を形成する。</p>
--	---

<p>⑦</p> <p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>	<p>古きよきものを大切にし、地域の歴史や文化を学ぶことは、人の心を豊かにする上で非常に重要なことである。行橋市には、今井の祇園や牡丹園、御所ヶ谷や馬ヶ岳城、守田邸等すばらしい文化財が多数存在するため、十分に整備を行い、それらを行橋のおいしい農産物や魚介類と絡めて、今後の高速道路の開通を控えたこの時期に広くPRしていくべきではないかと考える。また、高速道路の整備に伴って、古墳等新たな文化財の発掘がなされているようなので、それらを十分にPRする工夫をしたり、展示場や美術館等の整備を行うことも検討すべきではないだろうか。</p> <p>また、目標指標の実績値を見ると、歴史資料館の入館者数が年々減少しているようだが、そもそもその存在を知る市民がはたしてどれだけいるのだろうか。全市民がその存在を認識し来館してみたいと思えるような取組みを実施してはどうか。</p> <p>歴史や文化財についての専門家から初心者まで、あらゆる人々に魅力感じてもらえるような工夫をしてほしい。</p>
-------------------------------------	--

<p>⑧</p> <p>施策の最終方針</p> <p>(市長の意見)</p>	<p>地域の歴史と風土に彩られた文化遺産を保存、継承、活用するとともに、これを礎とし、新しい文化や芸術を創造する街づくりを行いたい。そのために、市内に残る史跡や文化財の整備を推進するとともに、歴史資料館からは魅力的でわかりやすい展示で本市の歴史と文化の情報発信を行っていく。</p> <p>また全国で唯一、室町時代から絶えることなく続いている本市の連歌についても、さらに継承、普及、PRに力を注いでいきたい。</p> <p>市民の文化芸術活動を支える環境整備についても取り組み、文化活動のさらなる活性化を促し、それがまちの魅力を高め、市民の生きがいやまちの賑わいにもつながるような施策を推進していきたい。</p>
--	--